けやき会報
兵庫県立大学 同窓会

第 28 号　令和６年 10 月 30 日　発行

〒673-8588　兵庫県明石市北王子町 13-71
TEL 078-925-0860　FAX 078-925-0878

デザイン　株式会社　サラト
〒 670-0948　兵庫県姫路市北条宮の町 172
tel 079-284-1380　https://salat.co.jp/

けやき会とは：兵庫県立看護大学卒業生･兵庫県立看護大学大学院修了生、兵庫県立大学看護学部卒業生･兵庫県立大学大学院看護学研究科修了生、在学生、名誉会員、特別会員（旧現教員）を会員とし構成されている同窓会です。

会長挨拶　けやき会　会長　大内　紗也子

2024年度よりけやき会会長を拝命いたしました、学部６期生、修士11期生の大内紗也子と申します。2002年に兵庫県立看護大学（現 兵庫県立大学看護学部）を卒業後、東京にある虎の門病院に就職をしました。看護師として働く中、壁にぶつかる度にゼミでお世話になった内布敦子先生に相談をしに行っておりました。看護師５年目で血液内科病棟に突然異動となりました。この時が私の人生のターニングポイントであったかと思います。命を懸けて造血幹細胞移植に挑む患者さんたちにたくさんかかわる中で、再び「看護って何なんだろう？」と思い始めたところに再度内布先生から「戻っていらっしゃい。もう一度学びなおすのよ」とお声がけいただき、決心をつけて母校の大学院に入学をしました。

修士１年生は忙しくもありましたが、学べる楽しさを存分に味わいました。大学院で学びなおしている中で、今でも胸に残る言葉があります。「看護師は患者にとって壁になるんじゃない、鏡になるのよ」という言葉です。これは内布先生の講義で出てきた言葉で「患者さんが（看護師が判断する）よくない方向に舵を切ろうとする際に、それを止めるのではなく、そういう決断をしようとしていることを鏡として映し出し、患者さん自らで気づいて決めてもらう」ことだと解釈しています。今も患者さんが何か大事なことを決めないといけないときには、一緒に整理をしたり、今の患者さんの立ち位置を一緒に確認したりすることを大切に日々の臨床を行っています。

大学院を修了して早いもので、もう15年です。すっかり明石キャンパスから足が遠のいていたところに、けやき会会長の任が舞い降りてきました。とても光栄なことではありますが、長らく大学と離れており、けやき会の運営においてもわからないことばかりで副会長のお二人をはじめ、庶務の皆さん、会計の皆さんとともに運営がスタートしたところです。けやき会の会員の皆様にとって開かれた運営を行い、母校とつながることができる、そんなけやき会を目指していきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いします。

2024年９月19日

写真紹介
「日本がん看護学会 がん看護専門看護師海外研修助成」を受けて米国で開催された第39回Oncology Nursing Forumに参加しました。テーマは「Ignite the Extraordinary」でした。私が考えた意訳では、「（コロナ禍の）燃え尽きた心に火をつけろ！」だと思っています。とてもエネルギーをもらえた学会でした。

コロナを経て、卒業生は今

平成15年度（2004年３月）博士前期課程修了
神戸市看護大学　井沢　知子

私は、2004年に兵庫県立看護大学大学院を修了し、がん看護専門看護師として実践を積んできました。2008年から京都大学医学部附属病院に勤務し、緩和ケアチームやがん相談支援センターなどのがん看護領域の現場で働き、京都大学の助教として専門看護師の育成にも数年携わりました。

そのような中、2020年にこれまでに類のないコロナウィルス感染症が世界中に蔓延しました。世の中が混乱の中、人との繋がりが制限され、医療現場でも家族の面会が制限されました。そのため、患者さんやご家族だけでなく医療従事者にとってもストレスが高い療養環境に置かれました。当時は臨床現場で働く看護師のストレスが高く、特にICUやCCUなどユニット系の重症コロナ患者の医療に当たる看護師は感染の恐怖を抱きながらもケアに当たり、大変困難な時間を過ごしました。このような中で、院内の異なる領域（がん・精神・急性重症患者）の専門看護師３名が重症患者の家族ケアに当たり、現場の看護師の支援を行いました。専門看護師達は家族ケアを通して、医療チームをエンパワーメントし、また倫理的なジレンマを抱く看護師に対する支援を続けました。この活動は専門看護師が力を集結させて現場を支援する画期的なものだったと思っています。

2024年現在、コロナが明けてようやくこれまでの日常が戻ってきました。京大病院には、がん看護、精神看護、急性・重症患者看護、慢性看護、小児看護、老人看護の専門看護師17人が在籍し各臨床現場で実践を行っています。月に１回「京大CNS会」と称して事例検討会や勉強会を開催し、研鑽を積みながら臨床現場の質向上に努めています。

今後、私は臨床現場から教育の現場に拠点を移すことになっています。これからは、専門看護師として仲間と切磋琢磨して得た貴重な経験をもとに、教育の現場でも邁進していきたいと思います。

平成21年度（2010年３月）学部卒業
兵庫県立大学看護学部　生活援助学助手　岡田　奈緒

みなさまこんにちは、私は統合３期（14期）の岡田奈緒です。私は現在、兵庫県立大学看護学部の生活援助学で助手を務めています。ご縁があり、こうして母校で教員をさせていただいております。卒業時にはこんな未来を予想もしていませんでしたが、小西先生の下、たくさんの刺激をいただきながら、毎日楽しく働いております。

今回のテーマであるポストコロナ、というところでは、私は2023年の４月に本学の教員として着任しましたが、病院で勤務していたときは新型コロナウイルス感染症の影響を受け、手術室での勤務でしたが、防護服を着用し汗だくになりながら、普段より少ない人数で手術を担当し、思い返すと本当に大変な時期であったと思います。また、病院を退職するときには送別会もなく、少し寂しい旅立ちでした。しかし、着任後に新型コロナウイルス感染症が５類に移行し、コロナ前の生活に戻りつつあるなかで、教員としての生活をスタートさせ、今では、同じ研究室の先生方とわいわい楽しく過ごしています。自分が学生の時にお世話になった先生方と、こうして一緒に働くなんて、本当に自分でもびっくりしていますが、お昼ご飯のふとした会話のなかで先生方の新たな一面を知ってくすりとする、そんな楽しい日々を過ごしています。

やっと新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、みなさまも仕事だけでなく趣味や旅行を楽しんでいるかと思います。私も、コロナ禍前には海外旅行を楽しみに働いていました。みなさま、高松空港は国際空港であることをご存知でしょうか？コロナ禍前には、香港、台湾、韓国といった高松空港から行くことができる国は全て行きました！そして今年は、コロナ禍以降初海外で、高松空港からベトナムに行ってきました。ベトナムでは遺跡などをめぐり、日本とはまた違った文化にふれることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

コロナ禍を経て、臨床現場や教育は変化しつづけているかと思います。新しい流れを汲み取りながら、県大の大事にしている「ケア」の心を忘れず、日々を楽しみながら、これからも過ごしていきたいと思います。

平成18年度（2007年３月）博士前期課程修了
木下　智香子

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は、2007年３月に看護学研究科（組織看護学専攻）を修了し、現在は県内の急性期病院で専従医療安全管理者として勤務しています。早いもので、医療安全に携わって13年目となり、この間に自院（２つの市民病院）の統合や新型コロナウイルスの世界規模の流行を経験しました。特に新型コロナウイルスに関しては当初は有効な治療法やワクチン接種が確立していなかったこと、診療材料や薬剤の不足・欠品等で大混乱をきたしましたが、その中でも当院は県内で早期、2020年２月末に職員の陽性者が出て大々的に報道されたため、職員や患者に対する誹謗中傷や差別を数多く受けました。他院受診・転院拒否、タクシー利用拒否、引っ越し業者や結婚式場からのお断り、同居家族に対する出勤停止、３月半ばでの異動医師の一斉引き揚げ…クラスターが発生していないにもかかわらず、当院の職員というだけでなぜこのような目に合わないといけないのか、いつまで自粛生活や差別が続くのか、職員全員が心身共に疲弊し、退職者も続出しました。

私は医療安全として、病院機能維持のため中心的業務を担っていましたが、公に出来ない内輪揉めや確執を数多く経験し、ヒトのエゴ・ネガティブな感情も嫌というほど見聞きしました。でも、それらひどい言動もその人にとっては正義且つ防衛機制であり、正義と正義、防衛機制と防衛機制の攻防であったのだと今になれば理解はできます（だからといって許せはしないのですが…）。発生から４年が過ぎ、院内ですら感染予防対策が緩くなりつつある今、あの時の経験は何だったのか、自身が何を得て、何を失ったのか…と、ふと考えることがあります。今はまだ受容できておらず、つらかった感情しか思い浮かびませんが、感染で亡くなった方々を偲びながら、あの時の経験が持つ意味を問い続けていくことが死ぬまでの自身の宿題だと考えています。

令和元年度（2020年３月）博士前期課程修了
たまつ訪問看護ステーション　平井　麻紀

2020年３月に大学院　在宅看護分野を修了し訪問看護師として働いています。

大学院へ進学したのは、病棟で働いているときに出会った患者が在宅でどのような支援を受け、生活を送っているのかということに関心があったからです。進学前は一般病棟での経験しかなかったため、大学院修了後の訪問看護は経験のない領域への挑戦であり、病棟と訪問の違いに戸惑いながら働き始めました。その上、2020年３月といえばCOVID-19が流行し始めた頃です。病院のように物品のストックはなく、感染対策のスペシャリストもいません。体調が悪くても療養者からの連絡がないため防御せずに訪問し、訪問者である自分が媒介者になっているかもしれないという不安を抱えながらの訪問、など様々な課題がありました。その中で、私が一番辛かったのは療養者から「基礎疾患があり重症化するかもしれない。コロナになったらあんたらのせいや」と訪問の度に言われたことでした。訪問看護以外にもサービス利用しており、近隣の人の出入りもあったのですが、「身体に触れるのはあんたらだけや。あんたらしかうつす人はおらん」と言われ続けました。療養者も訪問看護の必要性を理解しており、訪問拒否もなく訪問は継続していました。ただ、私にとっては自分が媒介者になっているかもしれないという不安を抱えながら、「コロナになったらあんたらのせいや」と言われる訪問だったので、精神的に辛い日々でした。最終的には、上司に相談し訪問を調整してもらいました。

上司や同僚に療養者のことについて相談するようにしていましたが、自分自身に関わることについては話していませんでした。このことをきっかけに、療養者からの言葉や態度で自分自身が辛くなる、しんどくなる、という状況になるときは、上司や同僚に相談しながら訪問を続けています。

第28回けやき会総会終了のご報告

2024年４月28日（日）兵庫県立大学明石看護キャンパスにおいて開催いたしました「第28回けやき会総会」は、以下の通り終了いたしました。ご出席いただきました会員の皆様にご臨席いただく中、全議案についてご承認を賜りましたのでご報告申し上げます。

記

１．令和６年度 役員選出〈第１号議案〉

竹原副会長より新役員の候補について説明があり賛成多数で可決されました。

会　長：大内紗也子さん
副会長：清原花さん　髙橋芙沙子さん
会　計：濵上亜希子さん　朝熊裕美さん
庶　務：大谷智恵さん　小嶋里枝さん　徳田幸代さん　細野可那子さん

２．会則改正案について〈第２号議案〉

竹原副会長より、会則改正案について説明がありました。

会員の方から、第28条会費に関して「会費徴収を入学時に行うと、退学者は退学時に会費のことを覚えておらず返還の申請ができることを忘れてしまうのではないか、卒業時の徴収では難しい理由があるのか」との質問があり、会計濵上さんから「卒業時の徴収の場合に納入率が低いことや、卒業の時期は役員が忙しく人手不足であるという背景があり入学時の徴収としている。また会費を払いけやき会の準会員となることで医中誌などを使用できるというメリットや退学時に返金の申請ができることを説明している」と返答がありました。賛成多数で原案通り可決されました。

３．令和６年度 事業計画〈第３号議案〉

竹原副会長より、令和５年度の事業報告の後、本年度の事業計画について説明があり、賛成多数で可決されました。

４．令和５年度 収支決算報告〈第４号議案〉

会計濵上さんより、令和５年度の収支決算報告がありました。その後、監事末永さんより会計監査の報告があり、不正の行為、また会則に違反する事実はなかったことが説明されました。また、会計濵上さんより「これまで会則に監事を置くと記載があったが、会計監査時以外は置いておらず、本年度よりけやき会業務全体の監査を置く予定である」と補足説明がありました。賛成多数で原案通り可決されました。

５．令和６年度 予算案〈第５号議案〉

会計濵上さんより、本年度予算案について説明がありました。

Ⅲ会報のメール配信の内訳について質問があり、会費未納者への会費納入に関するメールの配信費用も含まれるとの説明がありました。これを踏まえて、「未納者へのメールに費用を使うより会員に違う形で還元する方が良いのではないか」というご意見がありました。このご意見については、今後の役員会で会則第２章を確認しつつ、検討していくことになりました。賛成多数で原案通り可決されました。

６．意見交換

竹原副会長より、本日欠席のウィリアムソン会長による開会の挨拶文が代読されました。

また、今回の総会開始時に会員の方から、現地に出席できない会員に対してWeb会議システムによる出席をお願いしたいとの申し出がありました。本日、総会に参加できない会員の方に対しての平等性に欠けるのではないかという意見もあり、議論への出席でなくオブザーバーとして参加することになった会員の方がいらっしゃいました。今後の役員会で検討するとともに、透明性のある役員会運営について努めていきたいと思う次第でありました。

以上

その後、けやき会懇親会が開催されました。
お菓子やジュースをいただきながら会員の皆様同士、近況を語り合ったり、久しぶりの母校の様子を見学したり、懐かしくにぎやかな時間を過ごすことができました。

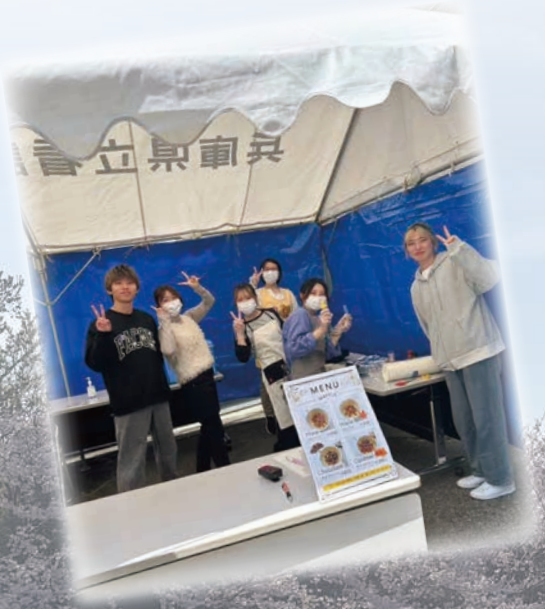
以上

欅まつり

今年の欅まつりは「Reborn Zelkova Festival」をテーマに開催しました。今年から新型コロナウイルスの制限が緩和され、飲食物の販売が可能になったことで、欅まつりも再び生まれ変わり、コロナ禍前の盛り上がりを取り戻していきたいと考えていました。欅には、『けやけし＝際立って美しい』という意味があることから、本学の学祭も欅のような『美しい学祭』を目指していきたいという思いで、欅の英名である『Japanese Zelkova』からとった『Reborn Zelkova Festival』としました。また、『Reborn』にちなんで今年の欅まつりのモチーフをリボンにし、『学内を結び、そして学内を越えて地域とつながることを大切にする学祭にしたい』という思いを込めました。

開催までの準備は、飲食物の販売が５年ぶりの取り組みであったことから初めてのことも多く、手探りの状態でした。上手くいかないことやこれで良いのだろうかと迷うことも多々ありましたが、教職員の方々のご協力もいただきながら『欅まつりをさらに盛り上げていこう』という思いのもと、学生会のメンバーと何度も話し合いを重ねていきました。当日は無事に開催し、たくさんの方にご来場していただくことができました。来場者には地域の方々も多く「毎年欅まつりを楽しみにしている」などの声をいただいた際には、改めて欅まつりが大学と地域がつながることができる機会になっているのだと感じました。準備期間は大変なこともありましたが、来場者の方々が様々な企画を楽しんでくださっている様子を見て、とてもやりがいを感じました。来年度以降もさらに欅まつりがより良い学祭になることを願っています。

最後になりましたが、教職員、後援会の方々をはじめ、学生会メンバー、当日ご参加いただいた皆様、欅まつり開催に向けて多大なるご協力をいただきありがとうございました。



お知らせ

明石看護学術情報館からのお知らせ

明石看護学術情報館では、卒業生・修了生の学習・研究活動支援のため、下記のサービスを提供していますので、ご利用ください。

（１）医中誌Webの検索サービス（窓口で申請）、（２）医中誌Web、PubMed検索時に入手可能と表示されたMedical Online、CINAHL、MEDLINEの文献限定で、複写サービス（窓口で申請、受取り）、（３）来校できない遠方の卒業生･修了生に対して、入手可能と表示されたMedical Online、CINAHL、MEDLINEの文献限定で複写サービス（電子メールで申請､郵便で返送。1文献あたり上限15枚､一人年間10回を目安）､（４）Medical Onlineのアブストラクト（1件110円）が無料で検索可能となるID/PWを提供、（５）学術情報館ホームページからUH Discovery文献検索サービス

お問い合わせは、laic-akashi@lib.laic.u-hyogo.ac.jp までご連絡ください。なお、これらのサービスは、卒業生・修了生以外の方は利用できません。

兵庫県立大学　臨床看護研究支援センターからのお知らせ

臨床看護研究支援センターでは、臨床現場（医療・福祉施設、地域を含む）と大学が連携し、看護ケアの質的向上を図ることを目的として、兵庫県立大学看護学部の教員が、看護研究、看護教育、コンサルテーション、教員の専門知識を活用したセミナーなど多彩な支援を行っています。皆さんの臨床実践能力向上の機会や、問題解決の相談相手として積極的にご活用ください。セミナーの詳細な内容や申し込み手続き､相談は､臨床看護研究支援センターのホームページ（http://kango-kenkyu.org/）からアクセスすることが可能です。

今後のイベント開催予定

・あなたの修士論文、眠らせないで論文投稿へ
日　時：令和６年12月15日（日）
場　所：明石看護キャンパス
講　師：古川　惠美（兵庫県立大学看護学部 教授）
丸　　光惠（兵庫県立大学看護学部 教授）

・スーパー司書さんにきく！文献検索の技！！
日　時：令和７年１月10日（金）13時～15時（予定）
場　所：明石看護キャンパスとZoomのハイブリッド
講　師：諏訪　敏幸先生（著書：看護研究者・医療研究者のための系統的文献検索概説）

・第３回理論看護研究会　（専用ホームページ：https://smartconf.jp/content/theoretical-ns/）
日　時：令和７年３月１日（土）
場　所：Zoomによるオンライン開催
講　演：Kathleen A. Knafl（School of Nursing University of North Carolina at Chapel Hill）
The Family Management Style Framework: Origin, Evolution and Application
山下　裕紀（関西医科大学看護学部看護学研究科）概念分析ハイブリッドモデルの可能性

※９月１日から11月30日まで、発表の演題抄録を受け付けています。
皆さまの参加をお待ちしております。

老人看護領域からのお知らせ

兵庫・老人看護研究会（本学にて対面での開催予定）

【令和６年度の開催予定】
７月27日（土）14時～16時：終了
11月16日（土）14時～16時
令和７年２月８日（土）14時～16時

＊原則、本学大学院の修了生を対象としています。
希望があれば、高見（miho_takami@cnas.u-hyogo.ac.jp）まで問い合わせてください。

【QRコード】

老人看護領域に関して､領域が運営しますホームページにも掲載しております｡ぜひ､ご覧ください。
老人看護領域　ホームページ　【URL】　https://gerontological-nursing.com/

精神看護領域からのお知らせ

精神看護勉強会

精神看護の実践家の方々とともに、実践の奥深さを学びあう事例検討会です。

2024年度開催予定（第118回、第119回は終了しました）
≪第120回勉強会≫ 2025年２月22日（土）13時30分～16時
対　象：看護師（精神医療、精神看護に携わる他の医療従事者も含む）
方　法：オンライン（Zoom）

精神看護CNSの集い

精神看護専門看護師の事例検討会です。グループ・スーパービジョンの有意義な機会となっています。

2024年度開催予定（第41回、第42回は終了しました）
≪第43回勉強会≫ 2025年２月22日（土）10時～12時
対　象：精神看護専門看護師教育課程を修了された方
方　法：オンライン（Zoom）

〈お申し込み方法〉
Googleフォーム（QRコード）からお申し込みください。
なお、勉強会中に知り得た個人情報の守秘義務が生じますことを、ご承諾ください。

【精神看護勉強会】

【CNSの会】

〈お申し込み・お問い合わせ先〉
兵庫県立大学 看護学部 精神看護学教室
〒673-8588　兵庫県明石市北王子町13番71号
Ｗｅｂ：http://www.pmhn-cnas.jp
TEL / FAX：078-925-9431
Email：pmhn.cnas@gmail.com
担　当：林田（精神看護勉強会）、菊池（精神看護CNSの集い）

母性看護領域からのお知らせ

母性看護学領域同窓会

母性看護学領域では、年に１度、卒業生・修了生・教員が集い、同窓会を開催しております。今年度は４年ぶりの明石看護キャンパスでの対面とオンライン（Zoom）によるハイブリッド開催とし、博士後期課程修了生の研究発表や母性看護専門看護師の活動報告等を企画しております。明石看護キャンパスには行けないが、日時の都合がつくという方は、オンラインにてご参加くださいますようお願いいたします。皆様のご参加をお待ちしております！

日　　時：2024年12月14日（土）11時30分～15時（11時 開場）
開催形式：対面とオンライン（Zoom）ハイブリッド方式
場　　所：兵庫県立大学明石看護キャンパス（対面でご参加の場合）
プログラム：博士後期課程修了生の研究発表、CNSの活動報告、参加者との交流等
参 加 費：対面での参加者　2,000円（軽食代込み）
オンラインでの参加者　無料
申し込み方法：右のQRコードよりお申し込みいただけます。

＊母性看護学領域の同窓会の案内は、来年度以降、ご登録いただいたメールにてお知らせいたしますので、母性看護学領域同窓生の方は、上記QRコードより同窓会の出欠と併せてメールアドレスの入力をお願いいたします。なお、同窓会開催は、看護学部や母性看護学領域のホームページ、けやき会の会報等でもお知らせいたします。
＊ご不明な点がございましたら同窓会担当の川村（mayuka_kawamura@cnas.u-hyogo.ac.jp）までご連絡ください。

会報発行協力金協賛者一覧 （2024年９月30日 現在）

■令和６年

名誉会員
鵜飼和浩
近澤範子

特別会員
鵜山治
坂下玲子
松岡千代
松田裕子

平10
鈴木（東）和代
得平（新川）佐織

平11
末永（大谷）美紀子

平12
糸原（田村）美晴
住岡（西村）まどか
渡部亜希子

平14
大越智真弓

平15
西谷美保

平16
野長瀬(谷口)真由美
青木（中地）陽子

平18
砂田薫子
宮城十子

平19
菊間（兼田）美佳
山村（福本）愛

平20
高見（橘）順美

平23
森下（竹下）京子

平26
伊藤麻里子

令４
大橋知紘

令５
三上暁久

平11博前
岩切真砂子
三輪（大﨑）富士代
佐久川政吉

平13博前
牧野耕次

平14博前
松枝美智子

平15博前
奥野信行
岡野（高見）由美子
安田孝子

平16博前
長坂（玉石）桂子

平17博前
蒲池あずさ
白石佳子

平25博前
濵上（甲木）亜希子

令４博前
下田明美

令５博前
切通京子
小谷口早苗
木下美香子

平14博後
渡辺かづみ

平15博後
寒河江(野澤)美江子

平17博後
呉小玉
近藤（佐藤）麻理

平21博後
工藤美子

平23博後
東ますみ

皆様ご協力ありがとうございます。会報の一部に使わせていただきます。

メールアドレス登録のお願い

2024年より、会報や総会などのご案内を郵送からメール配信に切り替えております。2022年３月以前に卒業・修了し登録された方および変更のある方は、けやき会のホームページから【会員情報の修正】にアクセスしていただき、メールアドレスの登録・修正をお願いいたします。

けやき会ホームページ【会員情報の修正】
https://keyaki-kai.com/member-address-fix/

けやき会 役員一覧

会長	大内紗也子
副会長	清原花 髙橋芙沙子
会計	朝熊裕美 濵上亜希子
書記・庶務	大谷智恵 小嶋里枝 徳田幸代 細野可那子

中秋の名月にこれを書いておりますが、まだまだ秋というより夏です。会報が公開される頃には秋らしくなっているといいなぁと思います。

兵庫県立大学同窓会 けやき会 2023年度決算書・2024年度予算案

【決算書】収入の部　（2023.4.1 ～ 2024.3.31）　2024年3月31日

費　目	2023年度決算額	備　考
会費　2023年度　学部入	¥980,000	98名×10,000
2023年度　大学院入	¥30,000	3 名×10,000
学部卒業生	¥100,000	10名×10,000
大学院卒業生	¥10,000	1 名×10,000
特別会員	¥20,000	2 名×10,000
雑収入	¥36	利子（26＋4＋6＝36）
学友会ウェルカムキャンパス	¥275,473	
会報協力金還元金	¥0	
前年度繰越金	¥6,731,097	
収入合計	**¥8,146,606**	

【決算書】支出の部　（2023.4.1 ～ 2024.3.31）

費　目	2023年度決算額	備　考
Ⅰ　ホームページ		
web総会用HPコンテンツ作成費用	¥19,800	
年間管理費	¥55,000	
Ⅱ　欅まつり　総会		
案内印刷・郵便利用料	¥317,522	
講師謝品	¥15,324	
Ⅲ　会報		
会報印刷発送	¥200,000	
Ⅳ　事務		
Zoom契約料	¥23,375	
Ⅴ　寄付金		
兵庫県公立大学法人（学術情報館）	¥250,000	
臨床看護研究支援センター	¥50,000	
Ⅵ　役員交通費	¥0	
Ⅶ　その他	¥6,500	
Ⅷ　CNAS30周年記念事業費	¥400,330	
支出合計	**¥1,337,851**	

2023年度決算残高	**収入総計**	**¥8,146,606**
	支出総計	**¥1,337,851**
	差引残高総計	**¥6,808,755**

2023年度決算報告について監査を行い、以上相違有りません。

監査　中西 永子　東永 美紀子

※Ⅶ その他はレターパック：1,110円、振り込み手数料：165円、定年退職者の花代と郵送代：5,225円

【予算案】収入の部　（2024.4.1 ～ 2025.3.31）　2024年3月31日

費　目	2024年度予算案	人数	会　費
会費　2024年度　学部入学	¥1,050,000	105	10,000
修士入学	¥40,000	4	10,000
博士入学	¥20,000	2	10,000
前年度繰越金	¥6,808,755		
収入総計	**¥7,918,755**		

【予算案】支出の部　（2024.4.1 ～ 2025.3.31）

費　目	2024年度予算案	備　考
Ⅰ　ホームページ		
年間管理費	¥55,000	
web総会システム費	¥20,000	
臨時ページ更新費	¥17,000	
Ⅱ　総会		
案内印刷・郵便利用料	¥400,000	
Ⅲ　会報		
会報印刷発送（名誉会員）	¥14,000	
メール配信	¥30,000	
Ⅳ　寄付金	¥300,000	会員・準会員に対する還元事業に限る
Ⅴ　ウェルカムキャンパス事業	¥300,000	卒業生・修了生が母校に帰る機会の提供
Ⅵ　事務		
消耗品	¥30,000	
PC並びに周辺機器	¥260,000	パソコンおよび周辺機器・ソフト
遠隔会議システム	¥24,000	Zoom契約料
Ⅶ　役員交通費	¥10,000	
Ⅷ　予備費	¥200,000	
支出総計	**¥1,660,000**	

収支差額	**¥6,258,755**	

※2024年７月18日付で新たに補正予算案を策定し、８月の臨時総会で可決された（詳細はHP参照）